

Acompañamiento del baile

片桐勝彦のバイレフラメンコ

texto por Katsubiko Katagiri

VOL.24

踊り歌の音域や 主要コード

～はじめに～ 先月取り上げた踊りの曲構成の中でも、歌振りが特に重要なことが理解できたと思います。そこで今回は、踊りの伴唱でよく歌われる歌の音域や主要コードなどを説明したいと思います。

◆ カポタスト ◆

1月号で曲種別の基準になるコードやカポタストの位置関係などを確認し、コードとカポタストの位置変換表を作成しました。カポタストとはイタリア語ですが、日本では音楽のジャンルを問わずこの呼び方が一般的です。英語でも capo (スペイン語ではcejilla) と言います。1弦から6弦まで一度に押さえて演奏のキーを移調することができるカポタストは、



フラメンコには欠かせません。フラメンコの歌は歌手の持つ高い音域の声をマックスに出して歌われることが多いことや、ギターでの和音の響きを大切にしていることなどから、カポタストを使って左手の運指を変えずにギターを演奏することができます。

◆ 音域 ◆

男性より女性の方が音域が高いことがほとんどですが、ではスペイン人と日本人の音域の違いはあるのでしょうか。少なくともCDの原曲より大抵は低いキーで歌っていることがほとんどなので、ここでは日本においての一般的なカポタストの位置を紹介することにします。

音域の問題は歌手やギタリストの範疇であって、踊り手には関係ないと思っていたら大間違いです。曲種によっては男性が歌えなかったり女性が歌えなかったりするケースも出てきますし、カポタストの位置によっては、弾けないファルセータなどもあります。そのため音域の問題は、踊る曲種を選ぶ際や振り付けを考える上で必要になってきますので、踊り手にとっても重要だと言えます。

また近年、フラメンコの舞台作りも変化してきました。従来は当たり前だった曲間の暗転板付は、最近では曲をつなげて舞台の効果を狙った演出も増えてきております。フラメンコギターで不可欠なカポタストの使用の意味を知ること、さらに踊りと歌とギターの関係性を深めてください。



《著者プロフィール》

日本を代表するフラメンコギタリスト。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、その後ギターを独習。A-JARIやチリクマルカ等のグループ活動を経て、明治大学在学中にフラメンコギターを始める。'98年から長期渡西。マドリードのタブラオ「カサ・パタス」やセビージャのラジオ番組などに出演。帰国後はカニサレスとの共演やNHK「音楽のある街で」出演。主な参加CD・DVD：風回廊（渡辺えり）、天国を見た男（沢田研二）、Boy(coba)他。Estudio ROMERO主宰。

◆ 曲種のキーとコード ◆

ではここで歌手の一般的な音域を個々の曲種で見いきましょう。ギタリストは歌手の声の高さに合わせて、キーを変えて弾くか、カポタストの位置をずらして演奏します。カポタストの位置は歌手の音域で単純に決まるわけでもありません。ソレアやシギリージャと言ったフラメンコ音階(ミの旋法)の曲種は、キーの低い男性でも瞬発力で高い声が出る場合もあったり、長調や短調の音楽的な曲種では不可能だったり、曲種別にカポタストの範囲も異なってきます。あわせて主和音(基準になるコード)や基本のコード進行も記しておきます。

ソレア

ソレアには地方や歌手によってたくさんの種類がありますが、踊り伴唱では、男性は3から5フレット、女性は7フレットで歌われることが多いです。しかしボル・アリーバの7フレットはボル・メディオの2フレットと同じキーです。

ボル・メディオの4フレットでブレリアを歌うのであれば、ボル・アリーバ(ソレア)では9フレットにカポタストをつけて歌わなければなりません。あまり高いフレットだとギターを弾く場所が少なくなってしまうますが、10フレットまでは弾けるように日頃から高いポジションでの左手の動きも練習しておいてください。ソレアはEのコードが主和音となり、F-Eという進行をとります。歌振りの基本的なコード進行は2015年の5月と6月号を参照してください。

アレグリアス

アレグリアスも低い旋律から高い旋律までバリエーションに富んだ曲種です。Eメジャー(B7-E)の場合、男性は0(アル・アイレ)か1、女性は3か4フレットで歌うことが多いです。2歌で歌われることの多い高い旋律の曲は、キーの低い男性では歌えないことが多いのですが、カポタストをこれ以上下げられないので、Cメジャーなどの違うキーで伴奏しないといけなくなります。その場合同じファルセータやシレンシオが弾けなくなるので注意してください。2015年の7月から11月号参照。

